



祈り、願う。



「新上五島町」
カトリック教会
拝観ハンドブック

〈教会拝観マナー〉 教会を拝観する際には、必ずマナーを守りましょう。

1. 教会は祈りの場です。静かにご見学ください

- ・結婚式、葬式など祭儀が行われている場合は拝観をご遠慮ください。
- ・静かな見学を心がけ、お子様連れの場合は同伴者の方がご配慮をお願いします。また携帯電話の使用もご遠慮ください。
- ・お祈りをしている人がいたら静かにご見学いただくか入堂をご遠慮ください。

2. 内陣・楽廊(2階)への立入は禁止です

- ・祭壇や朗読台を配した「内陣^{*1}」は神聖な場所なので絶対に立ち入らないで下さい。
- ・「楽廊」とよばれる2階部分は古くなって危険な場合があります。立入はご遠慮ください。

3. 教会内の写真撮影・飲食・喫煙は禁止です

- ・教会堂内での撮影は禁じられており、出版物などへの内観の掲載についてもカトリック長崎大司教区の許可が必要です。
- ・堂内での飲食、喫煙はできません。ペットボトルを取り出して飲むのもやめましょう。

4. 教会内外のものにむやみに触れないでください

- ・堂内にある聖書や祈祷書は信者の私物の場合もあるのでむやみに触れないで下さい。
- ・教会の鐘は信者にとって大切な祈りの時の合図。勝手に鳴らさないようにしましょう。
- ・入口にある聖水盤^{*3}は信者が身を清めるために使います。灰皿と間違えないで下さい。

5. 脱帽・拝観にふさわしい服装で

- ・堂内では帽子を取りましょう。
平服でかまいませんが肌を露出した服装は避けてください。



内陣(※1)

イエスキリストの死と復活を記念する祭儀「ミサ」はカトリック信徒にとって最も大切な祭儀です。この「ミサ」の中で聖別されてキリストの体となったパンを「聖体」と言い、聖体が納められた箱を「聖櫃」と言います。
ミサが行われる「祭壇」とこの「聖櫃」がある部分を「内陣」と言い、教会堂の中で最も神聖な場所ですから、立入はできません。段が高くなっていたり、絨毯の色が変わっていたりします。



ミサ(※2)

ミサとはイエス・キリストが復活した日曜日(主の日)とし、死と復活を記念する祭儀「ミサ」を行います。キリストの御体であるパンを拝領することでキリストと一つになる、信者にとって大切な祭儀です。



聖水盤(※3)

教会入口には司祭が祝福した「聖水」を入れた「聖水盤」があります。教会に出入りする際にカトリック信者はこの聖水をつけて十字架のしるしをします。

上五島

カトリック教会

巡礼マップ

Wi-fi スポット

※番号はP5~8で紹介したものです。

※■はかつてあった教会です。

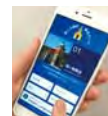
五島うどんの里
Village of Goto Udon

奈良尾港ターミナル
Narao Port Terminal




新上五島町

上五島29の教会すべてに
エアサイネージを設置!



エアサイネージ

スマートフォンやタブレット端末から教会拝観マナー・教会の歴史・魅力などを閲覧できます(多言語対応)。
※エアサイネージの使用方法は、教会の案内板付近に掲示しています。
※端末は屋外で使用し、教会室内では使用しないでください。



日々の中に
あたり前にあるもの。
喜びも苦しみも
人々の心を静かに支える。

かしら がしま

頭ヶ島天主堂 (国指定重要文化財)

明治初期の迫害の際に島を離れ、再び戻り住んだ信者たちが近くの砂岩を切り出して造った石造りの教会です。重厚な外観とは異なり、内部は折り上げ天井に花柄をあしらうなど、優しい雰囲気が漂っています。



丘の上、海のそば、まちの中。
いろいろな場所に建つた皆さんの教会。
それはまるで人々の暮らしを
見守るかのように。
穏やかに、優しく
流れる時間ごと包み込む
祈りの島・上五島。





あおさ がうら
青砂ヶ浦天主堂 (国指定重要文化財)

信徒がレンガを選び、造り上げた青砂ヶ浦天主堂。鉄川与助の設計施工によるもので、当時の神父が外国から原書を取り寄せて指導したことから、正統的な西洋建築様式、細部の意匠が特徴で、優美な装飾が印象的です。



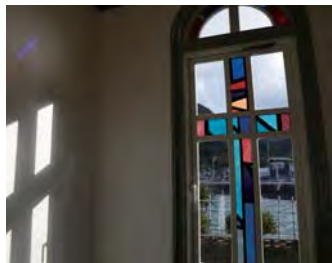
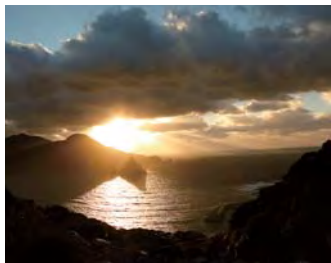
いまでも暮らしの中に息づく、静かな祈り。

海を見下ろす高台の上や、入り込んだ小径の奥など、上五島には29もの教会がひっそりと佇んでいます。レンガ造りの重厚な教会から木造の素朴な教会まで造りも様々ですが、どれも信者が守ってきた大切な教会ばかりです。

1587年に伴天連追放令が発令、弾圧が強化されるなか、信者たちはひそかに信仰を続けました。仏教徒を装いながら、祈りの「オラショ」を伝承し、いつか神に届く日を信じて耐え忍んできたのです。

300年近くの月日を経てようやく信仰の自由が得られた信者たちは、信仰の証として教会の建立にすべてを捧げました。生活を切り詰めて資金を捻出し、自らの手で岩を切り出し、それらの材料を一つひとつ運び、念願だった教会が完成したときの彼らの喜びははかり知れません。

穏やかな風景に溶け込む上五島の教会。今もなお、心のよりどころとして、島の人々に大切に守られています。



上五島が生んだ偉人 建築家「鉄川与助」



明治12年(1879年)、大工の棟梁の長男として生まれました。若い頃から教会建造に従事、五島をはじめ九州各地で教会を造り、その後教会建築の第一人者と称されるまでになりました。彼の手がけた教会堂は今でも高い評価を受けています。



かしらがしま
1. 頭ヶ島天主堂

聖ヨセフ 国指定重要文化財

明治43年(1910年)に着工、大正8年(1919年)に献堂された、全国でも珍しい石造りの教会。世界遺産登録の構成資産を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。

📍 友住郷頭ヶ島638-1



あおさがうら
2. 青砂ヶ浦天主堂

聖ミカエル 国指定重要文化財

明治12年(1879年)頃は小さな集会所風でしたが、明治43年(1910年)鉄川与助による設計施工で、現在の教会堂が建立されました。

📍 奈摩郷1241



こめやま
3. 米山教会

聖アンデレ

中通島の北端にある教会。初代は明治36年(1903年)に、現在の聖堂は昭和52年(1977年)に建立されました。聖堂後部の「最後の晩餐」レリーフが目を引きま。

📍 津和崎郷589-14



ちゆうち
4. 仲知教会

聖ヨハネ五島

昭和7年(1932年)頃より、上五島北部の主任教会の役割を担っています。現在の教会堂は昭和53年(1978年)に建立。キリストの生涯を描いたステンドグラスに目を奪われます。

📍 津和崎郷991



あかばえ
5. 赤波江教会

聖ヨセフ

明治17年(1884年)に初代の教会が建立され、現在の教会堂は昭和46年(1971年)に祝別されました。対岸の道路からは山の中腹に映える赤い屋根が印象的です。

📍 立串郷1899



えいぐる
6. 江袋教会

イエスのみ心 県指定有形文化財

明治15年(1882年)に創建。木造の教会堂としては県内最古のものでしたが、火災により焼損。復元工事が行われ、平成22年(2010年)に完成、献堂式が行われました。

📍 曾根郷195-2



こせら
7. 小瀬良教会

聖ヨセフ

椿に囲まれた自然豊かな地に建てられた教会。昭和26年(1951年)に建立、装飾の少ない簡素な空間が特徴です。小規模な教会でありながら、入口上には楽廊があります。

📍 立串郷1351



おほみず
8. 大水教会

聖ミカエル

東シナ海を望む急斜面に建つ大水教会は大正2年(1913年)に祝別されました。現在の教会は昭和60年(1985年)に建てられ、内部には美しいステンドグラスや彫刻が施されています。

📍 曾根郷411



9. 曽根教会

無原罪の聖母

明治14年(1881年)に設立、昭和41年(1966年)に現在の教会堂が建設されました。東に五島灘、西に東シナ海を望み、五島灘に昇る朝日、東シナ海に沈む夕日を堪能できます。

📍 小串郷1028



10. 冷水教会

聖ヨセフ

明治40年(1907年)に現在の教会堂が完成、青砂ヶ浦教会の巡回教会となりました。数多くの教会建築に携わった鉄川与助が棟梁として初めて設計、施工した教会です。

📍 網上郷623-2



11. 丸尾教会

王であるキリスト

初代の教会堂は昭和3年(1928年)に建立、昭和47年(1972年)に現在の場所に移され、丸尾小教区として独立しました。季節によっては有川湾に浮かぶ漁火を望むことができます。

📍 丸尾郷940



12. 青方教会

聖家族

上五島地区のカトリックセンターとしての機能を持つ教会。昭和49年(1974年)に聖堂を建立。平成12年(2000年)、現在の教会堂に建て替えられました。

📍 青方郷511-1



13. 大曾教会

イエスのみ心 県指定有形文化財

大正5年(1916年)に現在の教会堂を建立。木造だった旧教会とは趣の異なるレンガ造りで、八角形ドーム型の鐘塔や色味の違う2種類のレンガを使った壁面などが特徴です。

📍 青方郷2151-2



14. 跡次教会

海の星の聖母

昭和7年(1932年)に建立、昭和59年(1984年)に現在の教会堂が建てられました。上五島洋上石油備蓄基地を望む高台にあり、教会からの眺望の素晴らしさは格別です。

📍 三日ノ浦郷1付近



15. 鯛ノ浦教会

聖家族

上五島の宣教の中心として明治14年(1881年)に最初の教会を、昭和54年(1979年)に現在の教会堂を建立。旧教会の一部には浦上天主堂の被爆レンガを使用しています。

📍 鯛ノ浦326



16. 猪ノ浦教会

聖イシドロ

入江の奥にある真手ノ浦教会の巡回教会。昭和22年(1947年)建立、老朽化により平成元年(1989年)に建て替えられました。柔らかな光が差し込む温かな雰囲気教会です。

📍 続浜ノ浦郷681付近

教会とは

教会とは、ラテン語で「Ecclesia エクレシア=招集」を意味します。一般的には祈りや祭儀として使用する建物を「教会」と呼んでいますが、キリスト教用語としての「教会」は、典礼集会やキリスト信者の普遍的集いのことを指します。頭ヶ島と青砂ヶ浦については「天主堂」で文化財登録がなされているため、その名称を使用しています。



巡礼とは

教会は祈りの場であり、観光施設ではありません。教会をただ眺めるだけでなく、教会を設計した人や造った人、これまで守り抜いてきた信者の方々に思いを馳せ、教会に息づくものを体感・体験すること、それが巡礼なのかもしれません。教会を訪ねたら祈りの雰囲気を味わってみてください。キリスト教の信者でない人も、祈りと祈りの場を体験するというだけで、何か得られるものがあるはずです。



事前連絡のお願い

世界遺産候補エリア内の教会見学は【事前連絡】をお願いします。

- 教会は、今も「祈りの場」として使用されています。
- ミサや、冠婚葬祭などで見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もあるため、下記教会の見学を希望される際には、事前連絡をお願いいたします。

○インフォメーションセンターが受付窓口の教会

- ・出津教会堂(長崎市) ・黒島天主堂(佐世保市) ・旧五輪教会堂(五島市)
- ・大野教会堂(長崎市) ・頭ヶ島天主堂(新上五島町) ・崎津教会(熊本県天草市)
- ・田平天主堂(平戸市) ・江上天主堂(五島市)

※大浦天主堂の見学には、事前連絡は必要ありません

○おちかアイランドツーリズムが受付窓口の教会

- ・旧野首教会(小値賀町野崎島)

事前
連絡先

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター」
TEL:095-823-7650 FAX:095-895-9690 [受付時間]9:30～17:30
※HPの事前連絡入力フォームもご利用ください。 <http://kyoukaigun.jp/>
「おちかアイランドツーリズム」
TEL:0959-56-2646 E-mail:yoyaku@ojikajima.jp

「頭ヶ島パーク&ライド」にご協力ください

頭ヶ島天主堂を中心とした周辺地区の歴史と、伝統、豊かな自然や環境を守るために、地区の車両の乗り入れ制限を行っています。

[シャトルバス&シャトル車を運行]

上五島空港 ↔ 頭ヶ島天主堂

※頭ヶ島天主堂へ車両でお越しの方は上五島空港駐車場をご利用ください。



新上五島町
観光商工課

〒857-4211 長崎県南松浦郡新上五島町有川郷720-1
TEL 0959-42-3851 FAX 0959-42-3852
<http://official.shinkamigoto.net/>



NPO法人長崎巡礼センター
新上五島町ステーション

〒857-4512 長崎県南松浦郡新上五島町友住郷744
上五島空港ビル内 TEL&FAX 0959-42-8118
長崎巡礼センターホームページ
<http://www.nagasaki-junrei-center.jp/>

監修／長崎巡礼センター